

令和6年度第1回（第68回） 東海村地域福祉計画推進会議 議事録

作成：藤田

- 1 日 時 令和6年8月2日（金）午後5時30分～7時
※アドバイザー事前レクチャー：午後4時30分～5時30分
- 2 場 所 議会棟203委員会室
- 3 出席者 地域福祉計画推進会議委員10名（欠席：江里委員）
アドバイザー：稲垣美加子先生（淑徳大学教授）
事務局：大道課長，大内補佐，小原澤係長，檜山主任，大畠主事補，
藤田

※配付資料に基づいて、アドバイザー事前レクチャーを実施

会議結果

5 議事

（1）第4次地域福祉計画中間評価結果について

- ・施策の方向性ごとに住民評価を算出し、行政評価を補正した結果が中間評価になる。今回の中間評価では、行政評価結果と中間評価結果は同じであった。
- ・中間評価では、ほぼ目標は達成されているという結果になった。
- ・個人情報保護等の住民から見えづらい施策は評価が低く、災害発生時の対策等の住民から見て分かりやすい施策は評価が高い傾向にあった。

（2）グループワーク（テーマ：地域福祉に関する東海村の課題と強み）

個人作業及びグループ内共有後、グループごとに発表

（3）令和6年度地域福祉計画推進会議スケジュール案について

今年度はあと2回の会議を予定

第2回：11月中旬～下旬頃

第3回：2月もしくは3月頃

（4）その他

なし

1 開 会

2 事務局あいさつ（大道課長）：事前レクで実施

今年度の会議の目標は、次年度に策定する第5次地域福祉計画の骨子作り。先生の講義（アドバイス）から、次期計画で東海村に盛り込めそうな話題を集めていただきたい。

3 委員長ごあいさつ（有阪委員長）

この会議に参加する度、皆さん一人ひとりがしっかり考えて発言しており、こんなアットホームで一生懸命な会議は少ないと感じている。本日は長丁場だが、よろしく願います。

4 アドバイザーごあいさつ（淑徳大学教授 稲垣美加子先生）：事前レクで実施

基本に立ち返っていただき、改めて社会福祉とは何か、その中で地域福祉とはどのような位置づけなのかを共有しながら、次期計画の土台にしていきたい。

次期計画は今ではなく、5年後、10年後の東海村に必要な計画を立てることが重要。今後、若者にバトンを渡すために、若者に起こりそうな未来を想像しながら、東海村に愛着を持ってくれるような計画を策定する必要がある。本日はよろしく願います。

委員及び事務局自己紹介

5 議 事

（1）第4次地域福祉計画中間評価結果について

事務局から配付資料に基づき説明をおこなった。

- ・施策の方向性ごとに住民評価を算出し、行政評価を補正した結果が中間評価になる。
- ・今回の中間評価では、行政評価結果と中間評価結果は同じであった。
- ・中間評価では、ほぼ目標は達成されているという結果になった。
- ・個人情報保護等の住民から見えづらい施策は評価が低く、災害発生時の対策等の住民から見て分かりやすい施策は評価が高い傾向にあった。
- ・第4次地域福祉計画中間評価での委員意見等は、評価できる点、課題、意見・要望等の3項目に分けて説明をおこなった。

【質疑・応答】

委 員：基本目標3の中間評価がAであるのは、どのような算出方法か。

事 務 局：Aが換算ポイント10、Bが換算ポイント7であり、基本目標3の施策の方向性5つの中間評価を足し上げると41ポイントになり、 $41 \text{ポイント} \div 5 \text{（施策の方向性の数）} = 8.2 \text{ポイント}$ となる。平均ポイントが8以上で評価はAとなるため、基本目標3はA評価となった。

（2）グループワーク（テーマ：地域福祉に関する東海村の課題と強み）

個人作業及びグループ内共有後、グループごとに発表をおこなった。

Aグループ

【課題】

- ・高齢者や身体障がいのある方の足（交通手段）の問題
- ・買い物が不便
- ・総合相談窓口が分かりにくく、活用されていないように思う
- ・児童虐待の相談がしやすい環境づくりが必要
- ・小学校低学年以下の子が優先されてしまい、若者（小学校高学年～学生）が集うことができる場所（涼しい場所）が少ない
- ・公園で子どもがのびのびと遊べない
- ・子ども会数の減少により、子ども同士で集まる機会が減っている
- ・子どもたちへの福祉教育の推進が必要
- ・近所のつながりが弱い
- ・行政サービスの利用を遠慮する人も多い
- ・福祉サービスや福祉施設の周知が足りない
- ・ボランティアをする人の高齢化が進んでいる
- ・お茶できる場所や回転寿司がない

【強み】

- ・若い世代に選ばれている（住みやすい、子育てしやすい）
- ・高校生会があり、高校生が自主的・積極的に活動をおこなっている
- ・幅広い世代でつながりがある
- ・コミセンまつり等のコミュニティ活動がさかんである
- ・子どもたち向けのワークショップが充実している
- ・情報発信という観点で、SNSに力を入れている
- ・家族の代わりにしてくれる制度がある
- ・福祉施設が充実しており、特に絆はすごい
- ・行政サービスが豊かである
- ・ワンストップ窓口があるのは良いと思う

Bグループ

【課題】

- ・差別や偏見がある
 - 権利擁護の普及・啓発が必要である
 - 全世代への福祉共有が必要である
 - 障がい者に対する差別や偏見が残っている
 - 地域福祉を担う人づくりとして、子どもたちが福祉について話し合えるワークショップを開催してはどうか
- ・成り手不足・後継者不足・交流の不足
 - 支える・支えられる関係性が重要である
 - 地域交流の減少
 - 役員の成り手不足
 - 地域活動が高齢者中心になっている
 - 高齢者が若者にやってあげたいことと、若者が高齢者にやってほしいことのマッチングができると良い

- ・移動サービス
 - 移動手段の確保ができていないため、高齢者にとって利用しやすいサービスを提供する必要がある
- ・施設
 - 中央公民館の活用を進めた方が良い
- ・その他
 - 商業施設や学生が楽しめる場所が少なく、東海駅で降りる高校生が少ない
 - 東海村内でも商業施設の設置状況に差がある
 - 東海村の良さを生かしきれていない
 - 地域によっては人間関係の希薄化が進んでいる

【強み】

- ・子育て
 - 給食がおいしい
 - 公共施設や学校が綺麗である
 - 小学生以下の子どもを対象としたイベントが多い
 - 預かり保育が無料である
 - 子育てするなら東海村，という話を聞くことがある
- ・その他
 - 他市町村に比べて財政が豊かと聞く
 - コンパクトシティ，ちょうど良いサイズ感
 - 住民力が高く，お互いを助け合う意識が強い
 - 東海村のことを好きな人が多い
 - サロン活動への支援などが充実している
 - 福祉への意識が高い

【稲垣先生コメント】

両方のグループに共通していたのは、集うことの必要性。コロナでコミュニケーションレスになっているため、集う場所、機会、情報、集う場所まで行くための交通手段の確保について考えなければならない。子ども会のような子どもたちが集う場所が無くなっているため、それに代わる何かを作らなければ今までのように集うことはできない。既存のサービスが充実しているかもしれないが、それに関する情報発信が少ないことや利用勝手が良くない等の問題もあるため、従来の情報宣伝活動ではなく、新たなツールの開発も必要である。乗り越えなければならない課題もあり、それをどう乗り越えながら新たな課題に挑戦するのかが次期計画において重要であり、皆さんのコメントから課題がみえたように思う。

これからは、多文化共生の時代であり、障がい者に向けた差別が今なお存在する中で、今後、外国籍の方に向けた差別も広がらないよう、心のバリアフリーをどう実現するかが次期計画で重要なポイントのひとつである。誰でも参加しやすい場所を作ったとしても、心のバリアがあると参加しづらいため、心のバリアフリーの問題は丁寧に考えていかなければならない。

従来の地域活動が困難になっている今、地域活動を持続可能なものにしていくため、

担い手の高齢化対策ではなく、高齢者の知恵を生かしながら未来の子どもたちのためにどんな豊かな東海村を作るのか、という方向に展開できると良い。課題は強みになる。高齢者の知恵を生かし、若い世代が東海村を考え、循環型の社会の実現や人と人とのつながりができると良い。

また、施設が綺麗であり、居心地が良いのは大事。子どもたちのために素敵な環境を用意していることは、非言語のエンパワーメントになる。子どもたちが生きづらさを感じている中で、ここは安心、綺麗だと思える環境を作るとは重要である。国は就学前の子どもたちに向けたサービスが多く、思春期の子や若者に対する支援は少ない。皆さんが若者に対する支援が少ない状況に気が付いているため、東海村独自で若者支援について働きかけても良いのではないかと思う。

東海村のコンパクトシティという利点と皆さんの東海村への愛着はエネルギーになるため、今回のグループワークは、東海村の良さや強みを生かしていくような計画の策定につながるものであった。いくつか次期計画に向けたヒントもあったため、キーワードやフレーズにつなげていきたい。次回はクリエイティブなディスカッションになると良いと思う。良い学びをさせていただいた。

(3) 令和6年度地域福祉計画推進会議スケジュール案について

事務局から配付資料に基づき説明をおこなった。

- ・来年度は第4次地域福祉計画最終年度、第5次地域福祉計画策定年度であるため、今年度は、第5次地域福祉計画策定に向けた準備・下地作りを進めていきたい。
- ・今年度の目標は、第5次地域福祉計画のキーワード・フレーズ等の抽出、第5次地域福祉計画骨子(方針)の取りまとめ。
- ・今年度はあと2回会議を予定しているが、今年度の目標を決める、作る、まとめるといったイメージを持って会議に参加いただきたい。
- ・第2回目は11月中旬～下旬の開催を予定しており、第5次地域福祉計画の方向の共有及びキーワードについてグループワークを通して考えていきたい。
- ・第3回目は2月か3月の開催を予定しており、毎年実施している行政評価結果の報告と第5次地域福祉計画の骨子の取りまとめを行う。骨子の取りまとめが今年度の大きな目標であるため、これに向けた会議の内容を考えていきたい。
- ・場合によっては、会議前に事前作業をお願いすることもあるかと思う。御協力いただきたい。

(4) その他

なし

6 閉 会